

# 那賀町議会から お知らせ



那賀町議会：ホームページアドレス  
http://www.town.tokushima-naka.lg.jp/gikai/

## 平成31年3月定例会議

### 一般質問から

主な質問とこれに対する長や関係課等の  
答弁の要旨は次のとおりです。



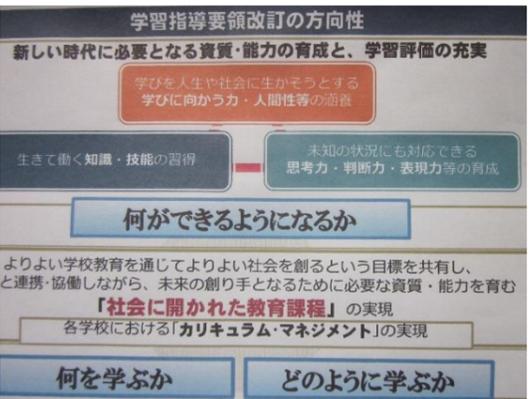
### 田村信幸議員

#### 今後の「那賀町教育振興計画」について

Q 新学習指導要領の小学校における全面实施が迫る中、ICT教育等、今後を見通した新しい観点からの「教育振興計画」の作成が必要と思われるが、検討委員会等設置状況を伺いたい。

#### 岡川雅裕教育長

A 教育振興計画の策定に向けたスケジュール案を31年度中にお示ししたい。コンサル業者を活用して、教育委員会として原案を作っていくたい。



#### 「那賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の現状と今後の展望について

Q 総合戦略実施最終年度を迎え、現在の状況をどのようにとらえているか。また、今後の地方創生を進めていく上で、どのよう「選択と集中」を図っていくのか伺いたい。

### 三好俊明まち・ひと・しごと戦略課長

A 総合戦略の現状については設定されているKPI（重要業績評価指標）67項目中61項目が達成見込み、または達成を目指して進捗している。民間企業で言う所の「選択と集中」は反映させ難いので、現在の総合戦略の結果を踏まえて今後活かしていきたい。

#### 坂口博文町長

A 総合戦略の4項目の頂点は人口減少抑制である。町外からの勤務者も非常に多い中、住宅が不足している現状から、最終年度においてはその整備に取りかかる。非常に厳しい財政状況であるが、6月補正予算を含めて充分調整し対応する。メディアドゥ藤田社長の構想においても総合戦略の主旨に協力していただければ、出来る限りの支援はさせていただきます。

#### 町内観光施設の運営充実とスマート回廊発展に向けての「川口ダム湖畔活性化構想素案」における連携について

Q 従来の「スマート回廊地域創造事業」に加え、県が打ち出している「川口ダム湖畔活性化構想素案」の今後の見通しを伺いたい。また、過日の子ども議会での観光振興発展に向けた提言を受けて、今後どのように観光政策に活かしていくのか。

#### 西田暁信にぎわい推進課長

A 「活性化構想」が実行され、ダム湖面利用スポットの環境整備や周辺施設での集客など、那賀町全体にぎわいが創出されることを期待する。子ども議会での提案は、今後も自由な発想で提案いただければ、現実的な効果が期待でき、かつ実現可能なことは検討したい。

#### 坂口博文町長

A 川口ダムのみならず、長安口ダム・小見野々ダム・大美谷ダムの治水・利水は勿論、観光に対する活用にも取り組む。



### 大澤夫左二議員

#### 坂口町政4年間の評価について

Q 自己評価と達成度について、主に林業再生政策・パイオ事業について伺いたい。また、次の4年間の任期を得たとしたら林業マスタープランをどう進めるか、どのような構想を持っているか。

#### 坂口博文町長

A 3期12年間、財政対策・インフラ整備・監査機能の整備等について、議会・町民の皆様のご理解・ご協力をいただき感謝している。林業振興については、森林管理・木材の活用を含め強く要望してきて今回、森林環境譲与税という形で動き出した。次の任期においては譲与税の活用について31・32年で本町の対応の

基礎を築きたい。那賀町において森林資源を活用することは、上流地域の発展と併せて、本町の生活・観光・商業・雇用全てに繋がると認識している。将来、那賀町が他の自治体に負けない町として、林業振興の方向性を示すことに最善を尽くす所存である。

#### 町内建設業者育成と災害時の役割について

Q 異業種の協力関係の構築について。

#### 伊藤晴夫副町長

A 災害時の倒木処理等においては、林業事業者が所有する高性能林業機械を活用し、効率的な復旧作業が行われている。今後とも、建設業・林業ともに連携し、このような異業種間の協力関係を構築したい。

#### 森林組合と後継者づくりについて

Q 組合独自で養成体制を持つべきではないか。

#### 伊藤晴夫副町長

A 森林組合では「緑の雇用」制度を活用し、独自の育成プログラムを持って指導を行っている。今後は、那賀高校森林クリエイト科の卒業生等、担い手の受け入れ確保及び定着に向けて、町・組合・林業事業者が一体となり一層の取り組みを行いたい。



### 連記かよ子議員

#### 当初予算について

Q 厳しい財政運営が続いているが、31年度の重点目標について。

#### 新居宏総務課長

A 平成31年度予算では、クリーンセンター建設事業や上那賀支所庁舎建設事業により昨年度より約8億円増加しているが、今後は交付税に見合った予算編成が必要である。

#### 森林環境税について

Q 森林経営管理法が施行されるが、どのような内容で、地元から要望の多い里山整備支援対策は可能か。また、1市4町で協議会を設置するということが、その取り組みと、それによる森林所有者への影響・メリットについて。

#### 伊藤晴夫副町長

A 森林経営管理制度は、未整備人工林において森林所有者の意向を伺いながら、意欲と能力のある林業事業者あるいは町が整備を行うものである。この制度運用にあたって広域的な協議会を設置することで、スケールメリットを活かしたコスト削減等が考えられる。住民の生活に影響する里山林整備については、今後、詳細な制度設計を行い地域の要望に添えるよう検討

したい。

### 児童虐待について

Q マニユアルの作製はできているか、これまで事例はあるのか。また、17年4月から市町村が児童虐待通告窓口を設置しているが相談件数はどのくらいか、専門の相談員は置いているのか。

佐々野嘉代すこやか子育て課長

A 一般的なマニユアルは所持しているが、独自のものではないので検討したい。相談は毎年数件の事例があり関係機関と連携し対応をしている。専門の相談員は置いていないが、担当者が県が行う研修を受講している。



### 山上健造議員

#### ゴミの収集について

Q 現在、那賀町では高齢化が進んでいるが、ゴミ出しは果たして今のままで大丈夫なのか。

北浦衛環境課長

A 現在、指定場所に出してもらってステーション回収を行っている。高齢者だけの世帯や障がい者世帯でゴミ出しが困難な方に対する支援策について、関係部署と協議・連携し、今後検討してゆく。

#### 県道28号線について

Q 県道28号線の改良工事の進捗状況と今後の見通しについて。

井本和行建設課長

A 主要地方道阿南小松島線の改良について、持井工区は用地取得が進み、この3月には一部工事発注をする。東だいこ工区は測量設計を発注しており、来年度以降用地取得に着手することである。同時に阿瀬比から入り口部分のバイパス整備の必要性について要望をしてきた。

Q この路線の改良促進のためのアドバイス等をお願いしたい。

A 用地取得の進展を契機に阿南市が当該路線を重要路線に格上げし、町としても阿南市や徳島県に対して、それら要望等のアクションを起こす必要がある。



### 田中久保議員

#### 那賀町の観光について

Q 那賀町は自然が豊かであるので、これを利用して五つあるダム(川口ダム・長安口ダム・小見野々ダム・追立ダム・大美谷ダム)の四季折々の姿をドローンで撮影し町内外へ発信し、バスツアーや写真展の開催などをしてはどうか。

西田暁信にぎわい推進課長

A バスツアーは「四国の右下観光局」の推進する着地型旅行商品開発の中でツアー企画を新たに提案したい。ドローンを使った写真や映像については、町内の観光施設での展示やイベント時に活用するなど検討したい。

峯田繁廣副町長

A (ダムをつかったイベント)以前、田中議員より義気場で提案のあったバス釣り大会を昨年11月に川口ダム湖畔で実施した。参加者は42名で、時期が遅かったこともあってバスは釣れなかったが、参加者で賑わった。今後はもっと早い時期に開催したい。

坂口博文町長

A 全国でもダム見学ツアーやダムカードの収集に訪れる方が増加していると聞く。長安口ダムにおいても「那賀川がわまちづくり計画」を活用してダム観光の拠点を整備したい。那賀町内のダムを活用した観光PRは大変効果的と考えるので、ご協力・ご助言をお願いしたい。

新居宏総務課長

A ダムにおけるサップやカヌーなどを活用した観光事業やドローンによる映像を観光に活かすことは那賀町の観光にとって有効な施策だと考える。

岡川雅裕教育長

A ダム湖でのカヌーの活用と、ふるさと教育を活用して子供達にダムの魅力や親しみを感じられるように考えていただく。



長安口ダム湖



### 新居敏弘議員

#### 那賀川河川整備計画の変更について

Q 那賀川河川整備計画の変更に伴い長安口ダム操作規則を見直すとのことだが、同じ流入量でも放流量はこれまでより減らすべきと考えるが町の見解は。調節率・洪水調節開始流量等はどうなるのか。また、その運用開始時期は何年後を見込んでいるのか。

坂口博文町長

A 下流域の整備が完成するまでは調節率を変えず、状況に応じて洪水調節を行っていただく。ダムとして改造機能を最大限発揮できる体制をお願いしている。運用開始時期は工事の進捗状況に応じて対応していただくと聞いている。

#### 危険空き家対策について

Q 町は住民からの危険空き家対策の要望に対し、どのように対処しているのか。また、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づいて対処している件数は。

河井伸夫防災課長

A 地域住民や所有者から除却についての相談を受け現地確認し危険がある場合、所有者に対し危険度を診断していただく(無料)。診断結果により危険度が明確になれば、補助金(上限80万円)の説明をし除却をお願いする。同特措法に基づく対処は0件。

#### 鷲敷簡易水道の安定的な給水強化について

Q 鷲敷簡易水道は山の谷水を利用しているため、長期間降雨がなければ断水の恐れがある。山の保水力低下もあり、早急に新たな水源確保等の対策が必要だがどうなっているか。

北浦衛環境課長

A 当初予算で鷲敷簡水の将来計画委託料を計上したところである。内容は、現状の問題点・将来的課題の洗い出し・施設の更新検討と共に予備水源として他目的用水の利用、近傍での水脈調査が考えられる。今後専門家を交え検討することとなる。



### 山崎篤史副議長

#### 子ども議会等の意見について

Q 人口減少の要因でもある少子化への対策は喫緊の課題であり、そのヒントは当事者である子ども意見の中にもあると考える。①あいあいらんど・虹の丘公園の遊具の現状は。②補修・新設等、町の考えは。③那賀町のワクワクする事業は何か。

西田暁信にぎわい推進課長

**A** あいあいらなどの遊具は以前と違い僅かとなっている。今後は指定管理者の方針でもある木工体験やカーン体験を推奨したい。しかし、それだけでなく子ども達が遊びに行きたくなる魅力的なあいあいらなどを目指し、指定管理者とも協議し検討したい。

**佐々野嘉代すこやか子育て課長**

**A** 虹の丘公園の遊具は老朽化が急激に進み、複合遊具中・大・ローラー滑り台は使用を中止し、複合遊具小は使用中である。修繕費用増が見込まれるため、当初の予定を変更し、ローラー滑り台のみの修繕を3月に行う予定。今後は費用・規模等を含め検討したい。

### 東京オリンピック・カーンドイツ代表チーム合宿地誘致活動の件について

**Q** オリンピック代表選手を迎えて、受け入れ環境を整備したりアテンド方法を学んだり、そのパフォーマンスを直接感じる体験は那賀町のスポーツ・文化振興にも大変貴重なものである。①誘致活動の成果は。②今後の環境整備、イベント計画等は。③ドイツ語研修、職員研修、町民の意識醸成等については。

**福多士郎教育次長**

**A** ①県との連携による環境整備や地域住民の皆様への温かいおもてなしにより誘致が決定した。②ドイツチームがオリンピックで優秀な成績を残せるような万全の体制をとっていきたい。また、独自のイベントも実施する予定である。③ドイツという国を知る上で研修会も必要と考えており、充分検討していきたい。

### 那賀高校森林クリエイト科の件について

**Q** 林業是那賀町の基幹産業になり得る可能性を感じる。従事者不足解消の点からも那賀高校への期待は大きい。今春、初の卒業生達の就職先・進路等はどうなっているか。

**岡川雅裕教育長**

**A** 今春卒業する方の中で林業部門に関わる生徒は19名の内12名。その内訳は林業現場に6名、公務員・県職員が3名、工務店や製材関係が3名である。卒業生19名の内、県内在住予定者は18名。町内在住予定者は8名。今後この一期生に続いて林業の現場、特に那賀町の林業に従事していただけるように協力体制を取っていききたいと考えている。



### 久川治次郎議員

#### 災害復旧（倒木や林道）について

**Q** 昨年来の台風による山林の倒木や林道被害を、どの程度把握しているのか。その対応や調査はどうなっているのか。また、倒木に対する補助施策はないのか。

**坂口博文町長**

**A** 風倒木の状況は、現地で把握しているが、倒れ方が理解しにくいような状況であった。災害対応については、単独ではなく補助事業で採択されるよう調査をしている。治山事業においても、前年度を上回る国の予算が付けられたので、国の補助事業として採択されるよう対応していきたい。

**西本忠司林業振興課長**

**A** 昨年度の風倒木被害は117アールで住民の方からの情報で調査をしている。環境林整備事業の特殊地拵えという補助があるが、森林所有者への意向調査を踏まえ林業経営に適さない森林と判断された場合は森林環境譲与税での対応も検討したい。



風倒木

### 町立病院・診療所の診療体制について

**Q** 那賀町営病院において、看護師不足により診療体制の方針が変更されようとしているが、現状維持の施策と今後の対応について。

**池田繁人保健医療福祉課長**

**A** 上那賀病院4月からの救急対応は、平日の日勤時間帯は今までどおり。平日夜間・土・日・祝祭日は原則休止となるが、緊急・重篤と医師が判断した場合は対応する。看護師確保の施策は、家賃無料看護師専用住宅を用意し、県外での募集・メディア配信を通じて行っている。来年度は2名来ていただけることになっている。

**坂口博文町長**

**A** 医師・看護師の確保については、県及び看護師協会にも要望し、医師については県から常勤医師5名の配置と県立中央病院から週4日の医師派遣をいただくことが決まっている。上那賀病院では、多数の看護師退職による不足のため、来年度から従来のような休日夜間の対応が困難であるとの趣旨の説明会を行っていることは承知しているが、町としては各医療機関への医師の配置の調整、看護師や看護補助員の確保、救急体制の見直し等に取り組んでいるところであり、その結果を踏まえた総合的な広報をして参りたい。



### 柏木岳議員

#### 町広報誌への折込チラシを地元商店に開放することについて

**Q** 「広報なか」への折込チラシについての現在の規定は。また、指定管理者制度における官民の立ち位置も明確にした上で、民業圧迫にならない在り方で更に商業振興を図るべきであるがどうか。

**三好俊明まち・ひと・しごと戦略課長**

**A** 広報誌へのチラシ折込みについての規定は無いが、指定管理者・民間企業を問わずチラシ折込みの要望があればその都度検討している。配送事業者等の関係者の意見を伺いながら、制度自体のあり方を慎重に検討したい。

#### 「子ども食堂」の社会的意義について

**Q** 貧困世帯対象だけでなく、我が町における「子ども食堂」の活用方法を示して欲しい。

**佐々野嘉代すこやか子育て課長**

**A** 子ども食堂の意義については承知しているが、これまで要望などをお聞きしていない。必要性・する・しないなど考えるまでに至っておらず、今後の研究として考えていきたいと思う。

#### 「朝給食」の検討について

**Q** 「早寝・早起き・朝ごはん」という標語があるように、子どもの育成に充分な朝ごはんの摂取が欠かせない。慌ただしい現代人の朝食の台所を想起しながら、海外では実践されている「朝給食」の検討に入っているかどうか。

**福多士郎教育次長**

**A** 教育委員会が行った食育に関する調査では、ほとんどの児童生徒がご家庭でしっかりと朝食を食べていることから、現時点ではその必要性は無いと考えている。生きる力を育むという意味からも朝食の大切さや自分で作れる簡単な朝食の作り方を教育していく必要性があると考えている。

**岡川雅裕教育長**

**A** 忙しい中、保護者が子どものために一生懸命汗を流して目配りをして子育てをしていただいていることは非常にありがたいと思っており、当分はこのままの状態していきたい。今後、機会があればアンケート等、調査は実施したいと思うが、今の段階では保護者の方には御苦労をお掛けするが、将来のお子様のために御努力をお願いしたい。